



大人への第一歩!

令和3年度のテーマ

「成跳 ～ Fly Now into our Bright Future ～」

令和3年度「東海村立志式」を開催しました

2月3日、東海中・東海南中の2年生を対象に、令和3年度「東海村立志式」を開催しました。例年、東海文化センターを会場としていますが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、昨年度に引き続き、各中学校での開催となりました。

実行委員を中心にテーマを作成し、準備を進めてきた生徒たち。当日は東海中の卒業生で歌手の山蔦シュンさんによる「My song My love ～愛はあなたの胸に～」の講演や、事前に撮影した両中学校の代表生徒によるパネルディスカッション「私たちのメッセージ」を視聴しました。実行委員長を務めた影井さやかさん(東海南中)はあいさつの中で、「将来の自分について考え、それに向かって行動できるようにしていきましょう」と力強く話しました。



今回のテーマにある「成跳」という言葉には、今後ぶつかるであろう困難に立ち向かい、跳び越えて成長したいという思いが込められています。それぞれの夢や目標に向かって、これからも挑戦できるよう応援しています。

【問い合わせ】教育委員会指導室(☎282-1711 内線1416)

「保育」という おしごと

— 保育者からのメッセージ —



子どもたちのかわいらしい姿に、日々、笑顔もらっています

物心が付いた頃から、私の夢は保育士でした。中学生の時の職場体験学習でも、迷わず体験場所に保育所を選び、そこでの体験がとても楽しかったことを今でもよく覚えています。

保育士は、子どもたちの命を預かる責任の重い仕事ですが、それ以上にやりがいを感じる瞬間がたくさんある魅力的な仕事でもあります。私が保育士となって良かったことを、いくつか紹介します。

1つ目は、子どもたちが日々成長するように、同じ毎日がないということです。昨日できなかったことも今日できました!小さなことかも知れませんが、子どもたちの成長を間近で感じ、

毎日新しい発見に出会えることに、私はとてもやりがいを感じています。

2つ目は、季節の移り変わりを身近に感じられることです。大人になると、空を見上げたり、土に触れたり、自然を感じたりする機会が少なくなると思います。ですが、保育士は子どもたちと一緒に、春は桜の花びらを使っておままごとをし、夏はビシヨビシヨになつて水遊びをし、秋はドングリ探しの探検に出掛け、冬に雪が降れば夢中で雪合戦をします。自然の中で思い切り遊んだり、一年間に行われる行事を通して四季を感じたりできるのは、保育士の特権だと思います。

3つ目は、何といつても笑顔にあふれた仕事だということです。私は今、一歳児の担任をし、日々、子どもたちのかわいい瞬間に立ち会っています。小さな子どもならではの表現や思いも寄らない言動に、私自身、たくさんの笑顔ももらっています。子どもたちの姿から、パワーをもらい、仕事ができるのは、とても幸せなことだと感じています。

保育の仕事は、大変なこともありますが、こんなにも笑顔にあふれた仕事はほかにはないと思います。ぜひ笑顔があふれるこの仕事に、足を踏み入れてみませんか。

百塚保育所

稲川美帆 副主任保育士